

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 6年 6月12日

香川県知事 殿



提出者
住 所 香川県坂出市江尻町1280-1
氏 名 中村土木株式会社
代表取締役 中村 敏浩
電話番号 0877-46-1230

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	中讃地区の各現場
事業場の所在地	坂出市内・善通寺市内・丸亀市内・綾歌郡内
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	建設業
② 事業の規模	国土交通省1件・県工事8件
③ 従業員数	37人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<pre>graph LR; A[廃棄物] --> B[中間処理]; B --> C[減量化対策]; C --> D[直接最終処分]; C --> E[再生資源化];</pre>

(管理体制図)



单位:t

【前年度(令和5年度)実績】							単位:t
産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥	廃プラスチック類	木くず	混合廃棄物		
排出量	1,949.31	6.75	6.47	39.76	18.50		
①現状							

①現状

(これまでに実施した取組)

- ・施工計画段階において廃棄物の発生抑制を考慮した工法・資材等を採用する。
- ・繰り返し使用できる資材は、極力転用する。
- ・高含水比の物については、中間処理を推進する。
- ・処理内容を確認し、処理業者と適正な委託契約を締結する。

②計画	【目標】	単位:t					
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥	廃プラスチック類	木くず	混合廃棄物	
	排出量	3,000.00	10.00	5.00	100.00	30.00	

②計画

(今後実施する予定の取組)

- ・積極的に優良認定処理業者への処理委託を行う。
- ・発生する廃棄物の種類・発生状況・処理方法・処理に関する留意事項を整理し、従業員に教育を行う。
- ・再生資材の使用を推進する。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ASガラ・Coガラ・汚泥・木くず・廃プラ 分別を徹底し混合(安定型)の割合を低減する
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ASガラ・Coガラ・汚泥・木くず・廃プラ 分別を徹底し混合(安定型)の割合を低減する

【前年度(令和5年度)実績】								単位:t
産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥	廃プラスチック類	木くず	混合廃棄物			
①現状	0	0	0	0	0			
(これまでに実施した取組)								
【目標】								単位:t
産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥	廃プラスチック類	木くず	混合廃棄物			
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0	0	0	0	0			
②計画								
(今後実施する予定の取組)								

【前年度(令和5年度)実績】								単位:t
産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥	廃プラスチック類	木くず	混合廃棄物			
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0	0	0	0	0			
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0	0	0	0	0			
①現状								
(これまでに実施した取組)								
【目標】								単位:t
産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥	廃プラスチック類	木くず	混合廃棄物			
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0	0	0	0	0			
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0	0	0	0	0			
②計画								
(今後実施する予定の取組)								

单位:t

②計画

单位:t

(これまでに実施した取組)

- ・施工計画段階において廃棄物の発生抑制を考慮した工法・資材等を採用する。
- ・繰り返し使用できる資材は、極力転用する。
- ・高含水比の物については、中間処理を推進する。
- ・処理内容を確認し、処理業者と適正な委託契約を締結する。

【目標】		単位:t					
産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥	廃プラスチック類	木くず	混合廃棄物		
全処理委託量	3,000.00	30.00	5.00	100.00	60.00		
優良認定処理業者への処理	0	0	0	0	0		
再生利用業者への処理委託	3,000.00	30.00	5.00	100.00	60.00		
認定熱回収業者への処理委託	0	0	0	0	0		
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0	0	0	0		
②計画							
(今後実施する予定の取組) ・積極的に優良認定処理業者への処理委託を行う。 ・発生する廃棄物の種類・発生状況・処理方法・処理に関する留意事項を整理し、従業員に教育を行う。 ・再生資材の使用を推進する。							
※事務処理欄							

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。